

平成 25 年度 うるま市景観まちづくり

# 浜比嘉島地区住民懇談会 かわら版

※この「かわら版」は、浜比嘉島地区の今後の景観まちづくりの取り組みについて、情報の共有や共通理解を図るために作成したものであり、全世帯に配布いたします。

地区住民懇談会は、区の呼びかけのもと以下の日時で行いました。

◎比嘉区 平成 26 年 1 月 23 日（木） 19:00～21:00 比嘉区公民館

◎浜 区 平成 26 年 1 月 24 日（金） 19:00～21:00 浜区公民館

開会あいさつでうるま市都市計画課の担当者から開催趣旨を説明したあと、受託者の(株)都市科学政策研究所担当者から昨年 12 月に行った景観に関する住民アンケート調査結果を報告しました。

次に 2 つのグループに分かれて、テーブルに準備した景観資源マップをもとに、綱引きの道やハーリーの場所など区の大切な場所を確認し、今後の望ましい区のイメージについて意見交換しました。

最後にグループで話し合ったことを発表者が全員の前で発表して会を閉じました。以下はその概要です。

## 浜 区



浜区では区民 19 人が参加しました。

### Aグループ

A グループでは話し合った内容を中野信子さんが発表しました。



発表した主な内容は以下のとおりです。

- ◎観光客を入れて活性化したい。このため浜グスクを整備して展望台をつくり観光コースにしたい。
- ◎浜比嘉島の入口付近が雑草だらけのため、整備して区民がもずくや野菜などの直売店を設置出来るようにしてほしい。
- ◎島外にいる島の若者が戻って来やすいように、浜中学校跡地にアパートを建設してほしい。屋根は赤瓦葺にすると景観にもよい。
- ◎カミミチをアスファルト舗装ではなく別の舗装として区別することで、伝統行事を意識させ次の世代に継承していけないか。
- ◎特産品をつくりたいし、赤瓦の屋根も増やしたい。など

### Bグループ

B グループでは話し合った内容を安里繁雄さんが発表しました。



発表した主な内容は以下のとおりです。

- ◎島の活性化もできるように“神の島・浜比嘉島”という表現は注意して使ってほしい。
- ◎生活道路と避難道路、一周道路の整備が必要。まず公民館の前の道を車が両側通行できるように6mにしたい。
- ◎ウブガー（前ヌカー）から比嘉への道が崩れかけて危険。避難道でもあり、観光バスや大型車は通れないので早急に整備してほしい。
- ◎西の御嶽に行く農道を4mに整備できると宅地化されたあたりの開発が広くできると思う。
- ◎利活用されていないまとまった畑地に太陽光パネルを1万2～3千枚取りつけることで、浜比嘉、屋慶名の電気が供給できるうるま市も潤う。そのためのアクセス道が必要。
- ◎“ていーらふい”に来る客が年間1万人以上いるが食事して帰るだけではもったいない。観光できる場所を増やして観光ガイド等に載せて島を活性化したい。
- ◎アガリの御嶽のがじまるは沖縄ーといわれるので観光ガイド等で紹介してほしい。また、浜区には洞穴が多くあり、それを活用して観光化できないか。浜区全体が花畑になるような仕組みも必要。
- ◎浜中学校跡地の利活用も含めて若者が住みやすい島にしたい。 など

## 比 嘉 区



比嘉区では区民 18 人が参加しました。

### Aグループ

A グループでは話し合った内容を外間晴美さんが発表しました。



発表した主な内容は以下のとおりです。

- ◎瓦屋根の残る集落内の景観を残していきたい反面、区の活性化を進めていく必要がある。
- ◎観光客は来ているが地域の活性化につがっていない。レンタカーで素通りするだけでなくウォーキングマップなどをつくって歩けるようにしたい。お土産店や特産物の直売所、宿など、観光客を受け入れる仕組みも必要。
- ◎ムルク浜、兼久ビーチなどはウミガメの産卵場所なので、不法投棄やビーチパーティーの規制をしてほしい。
- ◎観光を生業にしている人と普通に住んでいる人たちが協力できるような仕組みを勉強していきたい。
- ◎ミーガーの前の道は小川に蓋をして広がっている。道の角には石橋があった。これを復活させたい(そのためには迂回路が必要)。比嘉区はこの小川を境に東と西に分かれている。
- ◎現在は一人暮らしの高齢者も多く助け合いが必要。赤瓦民家などは修繕の時期にきている。瓦葺や石積みの助成など行政のバックアップが必要。
- ◎現在のハーリー会場は祭り用としてみんなが見物できる漁港へ移しているが、ウガンバーリーは本来の場所で行っている。
- ◎目に余る看板やポスターが多くなっているのでやめてほしい。
- ◎島に住みたい人は多いが貸家がない。空き家はあるが貸してくれない。今ある廃校の跡地を利用して市営団地をつくるのはどうか。
- ◎全体としては、自然・歴史・文化を大事にしながら島の活性化を図っていきたい。 など

### Bグループ

B グループでは話し合った内容を玉那覇清勇さんが発表しました。



発表した主な内容は以下のとおりです。

- ◎アンケートにもあったように住民の8割は景観のことを知らない。何に向かっていくのか示してくれないと住民も困惑してしまう。観光による活性化なのか住環境の保全なのか。
- ◎比嘉区は道路が整備されていなく排水がない。下水道が完備されていないから住みたくないという人が多い。また、島には産業が無いから若者はみんな島外へ出て行ってしまふ。
- ◎資源マップは観光や歴史に興味をもてるように書き方を工夫したほうが良い。立石(たっちゅういし)は集落のヒンブンであり、かつてこの下でシマクスラーの行事をやった。
- ◎シルミチューにある大木は方言で「ウーバーギー」と言う。南西諸島で一番大きいと言われているのでその標識が必要ではないか。
- ◎路傍のブートウイチーチ、2か所あるフル、琉球王朝時代に造られたバン殿内の石垣、平良家から吉本家に通じる明治時代の石垣は早く保存対策する必要がある。
- ◎昔は、エイサーは比嘉公園(あしびなー)で練習をしていたが、いまはそこを使わずに吉本家の空き地でやっている。
- ◎全体としては島のために是非協力をして一緒にやっていきたい。 など

### 平成 26 年度の予定

平成 26 年度は、島の景観まちづくりについての共通認識を深めるため、区民とともに以下のような勉強会を行う予定です。皆様のご参加どうぞよろしくお願いします。

- ◎島の景観資源めぐり
- ◎景観法についての学習
- ◎他市町村の事例視察
- ◎浜比嘉島景観島づくりの目標・方針づくり

